

大阪府日中友好協会 文化茶話会

2019 (令和元) 年9月28日 14:00~16:00

「坂和的中国電影論と日中交流の楽しみ方

— 『シネマルーム43』と『坂和的中国電影大観4』の出版を記念して—

弁護士 坂和章平

<第1部 自己紹介>

第1 弁護士坂和章平のプロフィール

『40年』第1編第1章(15~34頁)(38歳~63歳)

事務所: 〒530-0047

大阪市北区西天満3丁目4番6号

西天満コートビル3階

坂和総合法律事務所: Tel. 06-6364-5871

Fax. 06-6364-5820

1. ホームページ⇒

<http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp>

1949年1月 愛媛県松山市に生まれる

1971年3月 大阪大学法学部卒業

1972年4月 司法修習生(26期)

1974年4月 弁護士登録

(大阪弁護士会)

1979年7月 坂和章平法律事務所開設

(後 坂和総合法律事務所に改称) 現在に至る

2. 自己紹介・・・資料1-1

①1949(昭和24)年 愛媛県松山市生まれ(団塊世代)、②中・高一貫受験 男子校、③学生運動、

④司法試験、⑤公害訴訟(10年)、⑥都市再開発・まち

づくり(30年間)、⑦都市法政策 出版・講義、

⑧映画評論、⑨旅行記(中国へ約20回)

3. 受賞

2001年5月 日本都市計画学会「石川賞」

日本不動産学会「実務著作賞」

4. 坂和章平の出版物(1985~2019年)

・・・資料1-2

(1) 都市問題に関する著書

(2) コラム集等『30年』『40年』『45年』

(3) SHOW-HEYシネマルーム1~44

5. まちづくり事件についての主な判決

・阿倍野再開発訴訟

・津山再開発訴訟

第2 中国人留学生支援・交流

2000年から開始

第3 中国旅行

『40年』第3編第2章(323~381頁)

1. 香港旅行・・・97(平成9)年6/13~16

2. 中国(大連・旅順・瀋陽)旅行記
・・・00(平成12)年8/10~14

3. 中国(西安・敦煌)旅行記
・・・01(平成13)年8/9~14

4. 中国(北京)旅行記・・・03(平成15)年1/1~4

5. 杭州、紹興、烏鎮旅行記・・・04(平成16)年3/31~4/3

6. 桂林、深せん、広州旅行記・・・04(平成16)年6/10~13

7. 西双版纳(シーサンパンナ)、昆明、麗江、大理「雲南省
大周遊8日間」旅行記・・・04(平成16)年11/28~12/5

8. 台湾(台北・高雄・台南・日月潭「台湾4日間」)旅行記
・・・05(平成17)年3/13~16

9. 中国(曲阜・泰山・済南・青島「中国5日間」)旅行記
・・・05(平成17)年10/20~24

10. 中国(上海・杭州・烏鎮・無錫・鎮江・揚州・蘇州・周
庄旅行「中国5日間」)旅行記
・・・06(平成18)年3/16~3/20

11. 中国(北京)旅行記・・・07(平成19)年10/7~11
—北京電影学院特別講義の旅—

12. 中国(上海)旅行記・・・08(平成20)年8/22~24

13. 北京・上海旅行記・・・09(平成21)年3/24~27

14. 上海旅行記・・・09(平成21)年8/17~8/20

15. 上海旅行記・・・09(平成21)年9/17~20

16. 厦門旅行記・・・09(平成21)年11/6~9

17. 大連・威海・青島旅行記
・・・10(平成22)年3/13~18

18. 上海旅行記・・・11(平成23)年11/3日~6日

19. 上海・合肥・南京・上海旅行記
・・・12(平成24)年8/16~24

20. 台湾旅行記・・・14(平成26)年8/17~21

21. 北京旅行記・・・15(平成27)年6/28~30

2015年9月大腸ガンの手術、2016年11月胃ガン手術の為中断

第4 中国語の勉強

・中国語検定4級合格(2011年12月)

・中国語検定3級合格(2011年12月)

第5 中国の大学での講義

1. 2007年10月10日北京電影学院
「坂和的中国電影論」

2. 2009年11月9日厦門(アモイ)大学
「日本の『景観法』と重要判例について」

<第2部 坂和と映画>

第1 私と映画の歴史

1. 小学時代(1955~61年)
東映チャンバラ映画、『にあんちゃん』(59年)
2. 中学・高校時代(1961~67年)
①3本立て55円(洋画+日活)、
②学校推薦(『ベン・ハー』など)、③試写会時々
3. 大学時代(1967~71年)
①時々、名画座系(3本立て150円?)
②日活ロマンポルノ
4. 司法修習生(1972~74年)
——深夜映画+ビデオ数台(年末年始)
5. 超多忙時代(1974年からずっと)
——深夜映画+ビデオ数台(年末年始)
6. 自社ビル移転、ホームページ開設(2000~19年)
①映画評論執筆開始—試写室通い
②年間多い時は300本、現在は年間180~200本
・『シネマ1~44』出版
7. 映画検定——キネマ旬報社・キネマ旬報映画総合研究所
主催
・『映画検定』公式テキストブック』
・『映画検定』公式問題集』
・4級合格(06年7月)
・3級合格(07年1月)

第2 私の1本・私のベスト5(2008年時点)

1. 私の1本——『サウンド・オブ・ミュージック』(高3)
2. 私のベスト5
洋画
①『風と共に去りぬ』(39年)
②『ウエスト・サイド物語』(61年)
③『卒業』(67年)
④『太陽がいっぱい』(59年)
⑤『さらば、わが愛 霸王別姫』(93年)
邦画
①『砂の器』(74年)
②『幸福の黄色いハンカチ』(77年)
③『人間の条件』(59~61年)
④『蒲田行進曲』(82年)
⑤『誰も知らない』(04年)

第3 私の愛読書

1. 昔『スクリーン』『映画の友』
2. 近時『週刊20世紀シネマ館』50冊+別巻10冊
『キネマ旬報』
3. 参考書:『中国映画の明星』
『中国映画の明星—女優編』
(石子順・03年・平凡社)

4. 私の夢『坂和流シネマと法律』の出版
『“法廷モノ”名作映画から学ぶ生きた法律と裁判』で実現(19年3月)

第4. 坂和的映画論

1. なぜ映画が面白いのか?
①人間の本性に迫る、②人生の縮図、③知らないことを体験、④歴史や恋愛の勉強、⑤夢と希望、元気の素
2. なぜ映画評論を書くか
①書かないと忘れる、②書くことによって感動を記録、
③他者との議論のネタ、④読者にも夢と希望と元気を与える
3. 何が好きか?
①人それぞれ、②必ず好きなジャンルあり
4. 映画評論の何が面白いのか?
①映画の話題は老若男女に共通
②人間の本音に早く迫れる。本性が早く見れる、
③異なる意見、見方、感性を知る
5. こだわりがわかる!
①私のこだわりは?②あなたのこだわりは?
③面白い人がたくさん・・・

第5 私の映画評論の特徴(ユニーク性)

1. 弁護士の視点
①法廷のあり方、②各種の法律上のテーマ
③その他(危機管理のシステム)
2. 都市法政策の講義、都市問題の実践からみる視点
①都市・住宅政策、②公害
3. 歴史大好き人間の視点
中国、韓国、ヨーロッパ中世
4. 文学大好き
シェイクスピア
5. 戦争映画検討の視点
6. 日本人論追及の視点(西欧や中国との対比)
7. 恋愛大好き、ピュアな少年の視点(?)
8. エロおやじの視点
9. 時事問題検討の視点

第6 新聞連載の映画評論・・・資料2-1~3

- (1)産経新聞『That's なにわのエンタメ』
(03年10/18~07年6/15、月1回、全34回)
『40年』第1編第3章(106~124頁)
- (2)大阪日日新聞『弁護士坂和章平のLAW DE SHOW』
(07年11/9~09年12/26、週1回、前111回)
『40年』第1編第3章(125~237頁)
- (3)日本と中国『熱血弁護士坂和章平 中国映画を語る』
(17年1/1~19年9月1日、月1回、全31回)
『45年』第4編第3章(394~419頁)

・・・資料3

<第3部 坂和的日中交流の楽しみ方>

第1 莫言さんノーベル文学賞おめでとう (『40年』「巻頭特集」(1~7頁、12~14))

1. 乞う、ご期待！7月26日に中国人作家・莫言と坂和弁護士が対談！（事務所だより17号）
2. 莫言文学のご紹介～『蛙鳴(あめい)』（11年5月、吉田富夫訳、中央公論新社）（事務所だより17号）
3. 中国人作家・莫言との対談は？有馬温泉での温泉談義は？（11年7月26日～27日）（事務所だより18号）
5. 莫言さん ノーベル文学賞受賞おめでとう！（事務所だより第20号）

第2 毛丹青、李淵博クンらとの共同作業および中国人脈の広がり

(『40年』「巻頭特集」(8~11頁))

1. 蘇童座談会 (08年4/2)
2. 『取景中国』出版に向けて打ち合わせ開始
3. 『取景中国』出版 上海ブックフェア (09年8/18)
4. 大学での対談・共同講演あれこれ
5. CCTVデビュー！ (09年10/11)
6. 定遠号プロジェクト (10年3/15)

(『45年』第3編第1章(204~217頁)第2章(219~224頁))

1. 『恵恵(フィーフィー) 日中の海を越えた愛』の出版と映画化！
—毛丹青教授との共同作業、最新報告—
2. 祝！淵博株式会社設立、『在日本』大阪事務所開き (16年5/27)
3. 毛丹青人脈、小玉と阿狸が貴志駅でご対面！ (18年4/29)
4. 中国安徽省海外联谊会歓迎会 (17年7/12)
5. 江西省帰国華僑連合会(僑連) 10名が都島自宅を訪問 (19年1/5)

第3 2007(平成19)年10月10日 北京電影学院での特別講義

(『40年』第3編第2章8(343、344頁))

1. ついに北京電影学院での特別講義が実現した！そのきっかけは、事務所だより第9号の交遊録に登場した、北京電影学院客員教授の肩書をもつ古澤敏文氏と意気投合したこと。北京電影学院は、中国第5世代監督の張藝謀(チャン・イーモウ)や陳凱歌(チェン・カイコー)らを輩出した世界でも珍しい国立の総合映画大学の最高峰。そこで学ぶ約50名の院生を前に、2時間半の授業で私が熱く語ったのは「坂和的中国電影論」。
2. 10月9日の打合せと昼食会そして学院内の見学を経て、翌10日、学院内には「日本著名電影評論家坂和章平談 中国電影在日本」と書かれた私の顔写真入りの大きなポスターが(写真①)。うれし恥ずかしの気持ちいっぱい45分前に教室に入ったところ、既に最前列の席をキープする約10名の院生がいた。配布した授業のネタは中国語版レジメ4枚だけだが、私の手元には膨大な資料が。ちなみに、当日は朝4時半に起きて、ホテルの部屋で講義メモをバッチリ作成。
3. 授業終了後は『SHOW-HEYシネマルーム』の中国語版はないのか？をはじめとする質問が次々と出され、私の講義に対する院生たちの興味と関心の強さがありありと！そして今や、この講義録を含む『坂和的中国電影大観』パート2となる『シネマルーム17』の出版計画は確定したうえ、いよいよ中国人民13億人をターゲットにした中国語版による『坂和的中国電影大観』の企画が現実的テーマに。
4. なお、10月9日の古澤氏との打合せの際、喫茶室で出会ったのが『呉清源 極みの棋譜』(06年)の田壮壮(ティエン・チュアンチュアン)監督。そこで、私たちは厚かましくも自己紹介をさせていただいたうえ、ツーショットの写真を(写真②)。こりゃ一生の記念写真に……。そして、大学を出る時は学長たちと記念写真を(写真③)。また、入口では再度記念写真を(写真④)。

第4 2015(平成27)年6月29日 北京電影学院“实验电影”学院賞の授賞式出席

・・・資料4-1、2

(『45年』「巻頭特集」(16頁~27頁))

第5 日中友好協会とその関連団体での講演

(『45年』「第3編第3章」(224頁~230頁))

1. 大阪府日中友好協会 文化茶話会(レジメ略)
「坂和的日中交流の楽しみ方と坂和的中国電影論」(15年11月28日)⇒19年9月28日に2回目の講演
2. 関西日中関係学会総会/講演会(レジメ略)
「坂和的日中交流の楽しみ方と坂和的中国電影論」(17年4月22日)
3. 第121回華人経済・経営研究会/講演(レジメ略)
「映画から見た中国社会の変貌と坂和的日中交流の楽しみ方」(17年11月22日)
4. 2019年 関西日中平和友好会 新春祝賀会/講演
「坂和的 中国映画の楽しみ方」(19年2月2日)
5. 2019年7月 日中友好協会の理事に就任

第6 安徽師範大学の日本校友会(同窓会)の成立大会(設立大会)を開催！坂和奨学金を決定！

2019年8月31日(土)、中国人の友人・揚揚(ヤンヤン)の出身大学である安徽師範大学の日本校友会(同窓会)の成立大会(設立大会)が私の事務所の2階で開催された。上海からは上海師範大学音楽学科の教授、東京からは東京福祉大学の石曉玲教授も参加し、盛大に設立が宣言された。自己紹介の後、贈答品の授与式、「我愛你中国」のソプラノ独唱。さらに、カラオケを交えながら懇談し、懇親を深めた。その中で坂和奨学金の構想も発表され、安徽師範大学建校90周年の記念の楯の授与式も行われた。最後は、校友会の今後の発展を記念して全員で記念撮影。新たな坂和的日中交流と友好がこんな姿で実現できたことに感謝！・・・資料5

<第4部 中国・香港・台湾の近現代史>

第1 中国の近現代史

1. 清の時代、植民地支配の時代—『阿片戦争』(97年)
日清戦争(1894~95年)
日露戦争(1904~95年)
2. 孫文~日中戦争—『宋家の三姉妹』(97年)
1905年8月 「中国同盟会」発足
1911年10月10日 武昌蜂起→辛亥革命
1912年1月1日 孫文を臨時大統領とする中華民国が
成立 首都南京(三民主義)
1915年 五・四運動(日本が対華21ヶ条を要求)
1917年 ロシア革命、1918年 第一次世界大戦
終了、1919年 パリ講和会議(日本に山東省権益を
譲渡)
⇒抗日愛国運動へ
1923年6月 第1次国共合作(コミンテルンの援助)
1925年3月 孫文死亡 蒋介石が権力承継
1927年 蒋介石の上海クーデターで国共合作が崩壊
国民党が北伐を開始
3. 日中戦争(抗日戦争)の時代(1928~45年)
4. 国共内戦時代(1945~49年)
5. 新中国建設(1949年~)
(1)文化大革命—下放政策(1966~76年)
(2)北京電影学院再開(1978年)
(3)改革開放政策(1978年~)
(4)天安門事件(1989年)
6. まとめ
毛沢東(1949年~1978年)
華国鋒(1976年~1978年)
鄧小平(1978年~1989年)
江沢民(1989年~2002年)
胡錦濤(2003年~2012年)
習近平 第1期(2012年~)
第19回党大会2017年10月 第2期2017年~
中国共産党第十九回全国代表大会(2017年)
「習近平による新時代の中国の特色ある社会主義思想」
(習近平思想)を明記、個人の名を冠した思想は鄧小
平・毛沢東以来

第2 香港の近現代史(一国二制度とは?)

1. 1997年の返還までの香港映画—香港は全く別、イギ
リス圏
2. 返還以降の香港映画→合流—1990年代初頭から名作
続出
『インファナル・アフェア』3部作など
3. 2014年 雨傘運動
4. 2019. 6逃亡犯条例の改正を巡る大規模デモ
<香港映画が果たした役割は?>

第3 台湾の近現代史(2つの中国)

1. オランダ統治時代(1624年~1661年)
2. 鄭氏政権(鄭成功)(1662年~1683年)
3. 清朝統治時代(1683年~1895年)
4. 台湾民主国(1895年5月~10月)
5. 日本統治時代(1895年~1945年)
6. 中華民国統治時代(1945年~現在)
中国大陸では国共内戦(1945~49年)
7. 2・28事件(1947年2月28日)
—『悲情城市』(89年)
→戦後中国から台湾に渡ってきた外省人である国民党
が、戦前から台湾に住んでいた住民(本省人)たち
の抗議運動に対して武力で弾圧した
8. 蒋介石が中華民国総統に(1950年1月)
9. 1949年5月から憲法の一部条項を停止し、戒厳令→
1987年5月に解除(「白色テロ」多発)、しかし、1
986年野党の民進党 結成
10. 蒋介石(~1975年)→蔣経国(~1988年)→
李登輝(1988年~2000年)
11. 国民党VS民進党の政党制
→台湾の独立問題
1996年2月 直接選挙による総統選挙の実現
で複数政党制による民主化
2000年 民進党の陳水扁が当選
2008年 国民党の馬英九が当選
2015年11月7日習近平VS馬英九総統の歴史的
会談
12. 2016年 民進党の蔡英文が当選
13. 2020年1月 台湾・総統選
鴻海精密工業の創業者、郭台銘(国
民党?)VS国民党、韓国瑜高雄市
長VS民進党、蔡英文

<台湾映画の果たした役割は?>

<第5部 坂和的中国電影論 その1>

第1 坂和が見て書いた中国映画焼く300本

1. 『シネマ5』66本・・・資料6-1~3
2. 『シネマ17』83本
3. 『シネマ34』90本
4. 『シネマ44』58本

第2 なぜ、中国映画が好きか？(坂和的視点)

1. 歴史大好き
2. きれいな女優大好き
3. 旅行大好き
4. 活劇モノ大好き

第3 中国映画にみる論点(坂和的問題提起)

1. 文化大革命をどう考える？
2. 下放政策をどう考える？
3. 中国土地バブルをどう考える？
4. 都市問題—再開をどう考える？
5. 民族問題をどう考える？
6. ドキュメンタリー映画をどう考える？
7. 日中戦争をどう考える？
8. メディアの管理体制と検閲をどう考える？

第4 中国電影100年

1. 中国映画の発祥
1905年—ドキュメンタリー映画上映
京劇の演目『定軍山』を記録したもの
それから100年「中国映画博物館」建設(2006年)
2. 1931年9月17日(満州事変)～1945年8月15日(日本敗戦)まで
反日・抗日映画のオンパレード
3. 1945年8月15日(日本敗戦)以降
→満州映画協会(満映)の崩壊と、東北電影の設立
・理事長 甘粕正彦
・大スター 李香蘭
4. 文化大革命(1967年～77年)と、北京電影学院の再開(1978年)、第1期生の活躍(1984年～)
5. 日中国交回復と中国映画の日本への導入
(1) 日中国交回復(1972年9月29日)
田中角栄+周恩来
(2) 第1回中国映画祭(1978年～2000年)
—(株)徳間書店東光徳間事業部が活躍
→第5世代監督の映画紹介
(3) 中国映画の全貌(2004年)
シネ・ヌーヴォで開催

<第6部 坂和的中国電影論 その2>

第1 第5世代監督以前の監督たち

第2 第5世代監督の果たした役割

1. 北京電影学院の果たした役割(1978年再開)
第1期生1984年から活動開始
2. チャイニーズ・ニューウェーブの受賞、初期、ハリウッド進出
(1) 張藝謀監督—『紅いコーリャン』(1988年ベルリン国際映画祭グランプリ)『生きる』『あの子を探して』『初恋のきた道』『至福のとき』『芙蓉鎮』『HERO(英雄)』(02年)『LOVERS(十面埋伏)』(04年)
陳凱歌監督—『黄色い大地』(1985年ロカルノ国際映画祭銀豹賞)
『始皇帝暗殺』『さらば、わが愛/霸王別姫』『PROMISE』(05年)
(2) 田壮壮(ティエン・チュアンチュアン)監督の独自路線は？
『青い罌』(93年)、『春の惑い』(02年)
『吳清源 極みの棋譜』(06年)
(3) 霍建起(フォ・ジェンチイ)監督の独自路線は？
『山の郵便配達』(99年)、『故郷の香り』(03年)
『シヨンヤンの酒家』(03年)

第3 第6世代監督の果たした役割

1. 第6世代監督の意義—第5世代監督との違い
2. 第6世代監督とその作品
賈樟柯(ジャ・ジャンクー)
『一瞬の夢』『プラットホーム』『青の稲妻』
『世界』『長江哀歌』
張楊(チャン・ヤン)
『胡同(フートン)のひまわり』
張元(チャン・ユアン)
『緑茶』『我愛你』
陸川(ルー・チュアン)
『ココシリ』
3. 第6世代監督の映画祭受賞と検閲

第4 第5世代監督の実績

1. 張藝謀(チャン・イーモウ)監督
・『項羽と劉邦』(S5・140p)(総監督)
・『女と銃と荒野の麵屋』(09年)(S34・152p)
・『王妃の紋章』(07年)(S34・90p)
・『金陵十三釵』(11年)(S34・132p)
・『HERO』(02年)(S5・134p)
・『LOVERS』(04年)(S5・353p)

- ・『サンザシの樹の下で』(10年)(S34・204p)
- ・『単騎、千里を走る。』(05年)(S17・233p)

2. 陳凱歌(チェン・カイコー) 監督

- ・『運命の子』(10年)(S34・43p)
- ・『PROMISE』(05年)(S17・102p)
- ・『北京バイオリン』(02年)(S5・299p)
- ・『キリング・ミー・ソフトリー』
- ・『子供たちの王様』(87年)(S5・267p)
- ・『始皇帝暗殺』(98年)(S5・127p)

3. 馮小剛(フォン・シャオガン) 監督

- ・『イノセントワールド—天下無賊—』(04年)(S17・294p)
- ・『女帝 エンペラー』(06年)(S17・298p)
- ・『わが家の犬は世界一』(02年)(S17・304p)
- ・『ハッピー・フューネラル』(01年)(S5・276p)
- ・『黄色い大地』(84年)(S5・63p)

5. ツイ・ハーク(徐克) 監督

- ・『王朝の陰謀 闇の四天王と黄金のドラゴン』(18年)(S43未掲載)
- ・『ドラゴンゲート 空飛ぶ剣と幻の秘宝 3D』(11年)(S34・163p)
- ・『王朝の陰謀 判事ディーと人体発火怪奇事件』(10年)(S34・167p)
- ・『ライズ・オブ・シ・シードラゴン 謎の鉄の爪』(13年)(S34・174p)

第5 第6世代監督の実績

1. 賈樟柯(ジャ・ジャンクー) 監督

- 趙濤(チャオ・タオ) がずっとミュージズとして
- ・『山河ノスタルジア』(15年)(S38・220p)
- ・『一瞬の夢』(97年)(S34・256p)
- ・『プラットホーム』(00年)(S34・260p)
- ・『四川のうた』(08年)(S34・264p)
- ・『罪の手ざわり』(13年)(S34・269p)

2. 王兵(ワン・ビン) 監督

- ・『三姉妹～雲南の子』(12年)(S34・276p)
- ・『無言歌』(10年)(S34・281p)
- ・『収容病棟 前編』(13年)(S34・285p)

3. 婁燁(ロウ・イエ) 監督

- ・『スプリング・フィーバー』(09年)(S34・288p)
- ・『パリ、ただよう花』(11年)(S34・294p)
- ・『天安門、恋人たち』(06年)(S34・300p)

第6 第6世代監督以降の監督たち

1. 趙薇(ヴィッキー・チャオ) 監督

- ・『So Young～過ぎ去りし青春に捧ぐ～』

<第7部 坂和的中国電影論 その3>

～社会問題提起作、テーマ別分類

1. 裁判

- ・『再生の朝に—ある裁判官の選択—』(09年)(S34・345p)
- ・『我らが愛にゆれる時』(08年)(S34・350p)

2. 政治 香港

- ・『乱世備忘 僕らの雨傘運動』(16年)(S43・175p)

3. サスペンス、殺人

- ・『薄氷の殺人』(14年)(S35・65p)
- ・『迫り来る嵐』(17年)(S43・180p)
- ・『見えない目撃者』(15年)(S37・190p)
- ・『天安門、恋人たち』(06年)(S34・300p)
- ・『709の人たち - 不屈の中国人権派弁護士と支援者たち』(17年)(S41未掲載)

4. 都市問題、住宅問題

- ・『胡同の理髪師』(06年)(S17・409p)
- ・『胡同のひまわり』(05年)(S17・415p)
- ・『ただいま』(99年)(S17・421p)
- ・『上海家族』
- ・『世界』

5. 夫婦モノ

- ・『緑茶』(02年)(S17・450p)
- ・『キムチを売る女』(05年)(S17・455p)
- ・『我愛你』(03年)(S17・345p)
- ・『忘れえぬ想い』(03年)(S17・186p)

6. 中国版『三丁目の夕日』

- ・『こころの湯』(99年)(S17・162p)
- ・『榕樹(ガジュマル)の丘へ』(97年)(S17・169p)
- ・『孔雀 我が家の風景』(05年)(S17・176p)

7. 辺境に生きる

- ・『ココシリ』(04年)(S17・365p)
- ・『狩り場の掟』(85年)(S17・370p)
- ・『白い馬の季節』(05年)(S17・375p)
- ・『セブンイヤーズインチベット』(97年)

8. 雲南省は別世界

- ・『雲南の花嫁』(05年)(S34・236p)
- ・『さくらんぼ 母ときた道』(07年)(S34・240p)
- ・『雲南の少女 ルオマの初恋』(02年)(S17・392p)

7. 恋愛感動作

- ・『最後の恋、初めての恋』
- ・『緑茶』
- ・『我愛你』

8. 人間ドラマ

- ・『山の郵便配達』
- ・『ジャスミンの花開く』
- ・『玲玲の電影日記』
- ・『単騎、千里を走る。』
- ・『長江哀歌』

9. 古代歴史モノ

- ・『始皇帝暗殺』
- ・『HERO(英雄)』

- ・『女帝 エンペラー』
 - ・『三国志』
10. 近代歴史モノ
- ・『家の三姉妹』
 - ・『活きる』
 - ・『阿片戦争』
11. 戦争モノ
- ・『ヘブン・アンド・アース』
 - ・『国姓爺合戦』
 - ・『SEVEN SWORDS セブンソード (七剣)』
12. 冒険活劇モノ
- ・『レジェンド 三蔵法師の秘宝』
 - ・『花都大戦 ツインズ・エフェクトⅡ』
13. ドキュメンタリー映画
- ・『延安の娘』
 - ・『蟻の兵隊』
 - ・『ココシリ』
14. その他
- (1) 老人問題
 - ・『グオさんの仮装大賞』(12年) (S34・312p)
 - (2) 誘拐
 - ・『最愛の子』(14年) (S37・177p)
 - 趙薇 (ヴィッキー・チャオ) 主演
 - (3) 同性愛
 - 戴思杰 (ダイ・シージェ) 監督
 - ・『中国の植物学者の娘たち (S17・442p)』
 - (4) 企業モノ
 - ・『CEO』
 - (5) 学校モノ
 - ・『子供たちの王様』
 - ・『草ぶきの学校』
 - ・『思い出の夏』
 - (6) お葬式モノ
 - ・『ハッピー・ヒューネラル』
 - ・『涙女』
 - (7) バイオリンもの
 - ・『小さな中国のお針子』
 - ・『北京ヴァイオリン』
 - (8) 格闘技モノ
 - 『スピリット』など多数あり
 - (9) これぞ中国映画！
 - ・『幸せの絆』
 - ・『キムチを売る女』
 - ・『雲南の少女 ルオマの初恋』

<第8部 中国映画をめぐる近時の話題>

第1 直近の中国映画の話題作

1. 呉京 (ウー・ジン) 監督
『戦狼2 ウルフ・オブ・ウォー2』(17年) (S41・136p) の大ヒットをどう考える?・・・**資料7**
2. 『流浪地球 (さまよえる地球)』(SFモノ) (19年) の大ヒットをどう考える?・・・**資料8**

第2 第5世代監督の直近作に注目!

1. 張藝謀 (チャン・イーモウ) 監督
 - ・『グレートウォール』(16年) (S40・52p)
 - ・『楊貴妃』(15年) (S39・303p)
 - ・『妻への家路』(14年) (S35・144p)
2. 陳凱歌 (チェン・カイコー) 監督
 - ・『空海 KU-KAI 美しき王妃の謎』(18年) (S41・112p)
3. 馮小剛 (フォン・シャオガン) 監督
 - ・『芳華』(17年) (S45 掲載予定)
 - ・『戦場のレクイエム』(07年) (S37・126p)
4. 呉宇森 (ジョン・ウー) 監督
 - ・『The Crossing -ザ・クロッシング- Part I』(14年) (S45 掲載予定)
 - ・『The Crossing -ザ・クロッシング- Part II』(14年) (S45・91p)
 - ・『マンハント』(17年) (S41・117p)
 - ・『レッドクリフ Part I』(08年) (S34・73p)
 - ・『レッドクリフ Part II』(09年) (S34・79p)
5. アン・リー監督
 - ・『グリーン・デスティニー』

第3 第6世代監督の直近作

- 賈樟柯 (ジャ・ジャンクー) 監督
- ・『帰れない2人』(19年) (9月公開)・・・**資料9**

第4 張藝謀 (チャン・イーモウ) 監督の直近作

- ・『影武者』(2019.9 公開)・・・**資料10**

第5 29歳の天才監督胡波 (フー・ボー) に注目!

- 2019.11/2 公開 (234分)
29歳で自殺 胡波 (フー・ボー) 監督
『象は静かに座っている』(18年)・・・**資料11**

第6 中国アニメ映画『哪吒』が大ヒット!

- 1位『戦狼』(56億8306万円)
- 2位『流転の地球』(46億5481万円)
- 3位『哪吒』(42億4200万円) (約640億円) を突破・・・**資料12**
- 4位『アベンジャーズ/エンドゲーム』(42億4009万円)

<第9部 直近の小説、ドラマ、>

第7 直近の合作映画

1. 映画では米中が大接近！中国市場の魅力は大！
 - ・『トップガン マーベリック』・・・**資料13**
トム・クルーズ主演
 - ・『MEG ザ・モンスター』(18年)(S43・87p)
李冰冰(リー・ビンビン)
東洋のハワイ 三亜 南海艦隊の基地
 - ・『ゼロ・グラビティ』(13年)(S32・16p)
中国の宇宙ステーション天空 有人宇宙船 神舟
 - ・『グレート・ウォール』(17年)(S40・52p)
マット・ディモン主演
2. なぜ余華作品の『血を売る男』が韓国映画に？
 - ・『いつか家族に』(15年)(S43・194p)
3. 日本のコミックにも注目！
 - ・佐藤信介監督『キングダム』(17年)(S43・274p)
cf『墨攻』(06年)(S17・128p)
漫画『墨攻』原作：森英樹(原作小説：酒見賢一／漫画脚本：久保田千太郎)
 - ・『ミーユエ』でも登場、墨子、非功、兼愛 法家 商用
4. 中国で『千と千尋の神隠し』が大ヒット！・・・**資料14**

第5 台湾、香港の旧名作が4Kデジタルで次々と

1. 胡金銓(キン・フー)監督の古典的名作2作
 - ・『残酷ドラゴン 血斗竜門の宿』(67年)(S39未)
 - ・『俠女』(71年)(S39未)
2. 楊徳昌(エドワード・ヤン)監督
 - ・『牯嶺街(クーリンチェ)少年殺人事件』(91年)(S40・58p)
3. 萬仁(ワン・レン)監督
 - ・『スーパーシチズン』(95年)(S42・141p)
4. 侯孝賢(ホウ・シャオシェン)監督
 - ・『ナイルの娘』(87年)(S42未掲載)
 - ・『冬冬の夏休み』(84年)(S38・229p)
 - ・『恋恋風塵』(87年)(S38・233p)
5. 陳果(フルーツ・チャン)監督
 - ・『メイド・イン・ホンコン』(97年)(S42未掲載)
6. 近時の台湾の話題作
 - ・『血観音』(17年)(S41・156p)
 - ・『空手道』(17年)(S41・160p)
 - ・『ゴッド・オブ・ウォー』(17年)(S41・146p)

第1 小説

1. 『玄宗皇帝』塚本青史・・・**資料16-1**
女帝則天武后、絶世の美女楊貴妃、奸臣安禄山が繰り広げる光と影！中国歴史大作！
2. 『バシレウス 呂不偉伝』塚本青史・・・**資料16-2**
中国歴史小説の重鎮が描く キングダム=秦国中華統一の物語 550年間続いた春秋戦国時代に終止符を打ち、平和と民の豊かさを希求した壮漢たちがいた！
3. 劉慈欣の小説『三体』(SFモノ)と映画『三体』の大ヒットをどう考える？・・・**資料15-1~2**

第2 TVドラマ

1. 『ミーユエ 王朝を照らす月』・・・**資料17-1**
2. 『独孤伽羅 皇后の願い』8/19～・・・**資料17-2**
3. 『花と将軍~OH MY GENERAL~』・・・**資料17-3**
4. 『賢后 衛子夫』8/23終了・・・**資料17-4**
5. 『麗王別姫 花散る永遠の愛』・・・**資料17-5**
6. 『王女未央』・・・**資料17-6**
7. 『神龍(シェンロン)』10/23～放送開始
2018年製作 全39巻
構想7年、総製作費100億円！史上最大級のスケール！2019年最高のファンタジースペクトル時代劇
・・・**資料17-7**